



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造  
養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和5年6月27日) 第8号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

## あたりまえのことかもしれませんが・・・PART2 ※5月23日発行第5号がPART1

ある日、授業の様子を見ようと校舎内を歩いていたところ、3年2組教室の前で足が止まりました。この時、3年2組の生徒は保健体育の授業を受けておりホーム教室は空きの状態なのですが、この美しく並んでいる机に強く感動してしまいました。移動の際に教室環境を整えるのはあたりまえのこと



ことかもしれませんが、この“あたりまえ”というのが簡単なことではありません。往々にして机が横を向いている、椅子が飛び出している、教科書やノートが散乱している、鞆が床に落ちている・・・等のケースがあるものですが、八鹿青溪中学校ではそれはありません。池田草庵先生の教えを励行している生徒の姿がこんな光景にも現れています。

## 火災避難訓練

6月8日(木)、理科室からの火災を想定した避難訓練を実施しました。当日はあいにくの雨でしたので、避難先をグラウンドから体育館に変更して行いましたが、どの生徒も実際の火災をイメージして真剣に訓練に臨んでくれました。今回の避難訓練には、南但消防本部から講師をお招きして講評を



いただいたうえに、消火器の使い方について説明をいただきました。私からは、「世の中に人の命よりも大切なものはないが、安全が保障されているわけではない。命を守るためにも訓練を大切にしよう。」と話をしました。

## 3年生 高等学校説明会

6月9日(金)、3年生が高等学校説明会に臨みました。当日は、但馬内7校(但馬農業高校、日高高校、豊岡総合高校、豊岡高校、村岡高校、和田山高校、八鹿高校)から先生方をお招きし、それぞれの学校の特徴を丁寧にご説明いただきました。私からは、「高校選びのためには18歳時の自分をイメージすることが大切です。また、高校を“選ぶ”ことも大切だが、高校から“選んでもらう”ための受験勉強が必須であることを忘れないでほしいです。」と激励しました。3年生の全生徒が自らの進路について主体的に考えてくれることを切に願います。



## 部活動参観週間

6月12日(月)からの週を部活動参観週間にしました。通常の授業を参観していただくことはどこの学校でも必ずあることですが、部活動の参観日を設定している学校は決して多くはないと思いますので、これは良い取組だと自負しています。期間中に約70名の方の参観をいただきました。

国が部活動の地域移行を推し進める中、八鹿青溪中学校でも将来的にはその方向に向かっていくのかもしれませんが、今のところは、各教員(顧問)の献身的な関わりにより部活動を運営しています。来月には但馬中学校総合体育大会や吹奏楽のコンクールがあります。2年数ヶ月にわたる生徒の頑張り、そして教員(顧問)との熱い“絆”に大きな拍手を送っていただけると幸いです。



## ひまわりの絆プロジェクト

平成23年秋に京都府で交通事故により亡くなった4歳の男の子を偲び、ひまわりの絆プロジェクト(南但馬警察署の取組)を6月16日(金)に八鹿青溪中学校で行いました。この4歳の男の子は、生前に幼稚園でひまわりを育てていたとのことで、この日はひまわりの種を生徒たちの代表が校舎脇の花壇に蒔きました。その光景を眺めながら、交通事故に遭う生徒をこの八鹿青溪中学校から絶対に出してはいけないとあらためて強く思ったところです。



## 第1回小学6年生中学校登校

6月20日(火)、八鹿青溪校区小中一貫教育の一環として「第1回小学6年生中学校登校」を実施しました。69名の児童がA組・B組に分かれて、まずはオリエンテーションと校舎見学。その後、中学校教員による数学・美術・英語の授業に加えて伊佐小学校の先生の国語の授業を受けました。いっぽう、中学校での給食や清掃も経験し、放課後は短い時間ながらも部活動見学もしてもらいました。この取組は小学校から中学校へのスムーズな進学を支援するもので、年間に3回計画しています。早くも次回(10月)が楽しみです。



## 八鹿青溪中学校 HP をご覧ください



保護者や地域の皆様への情報発信のためにHPの更新に力を入れています。是非ご覧下さい。QRコード→

